

第 18 回（2021 年）環境情報科学ポスターセッション

優秀ポスターの発表

2021 年 12 月 6～12 日にオンラインにて開催された 2021 年度環境情報科学 研究発表大会において、第 18 回環境情報科学ポスターセッションでの研究発表が行われました。

今回はオンラインでの発表となるため、1 枚のポスターによる発表ではなく、ポスターの内容を PowerPoint のスライドに分割した動画での発表となりました。

なお、審査は学術委員等の審査委員 8 名において、発表内容やデザイン、質疑応答への対応の観点について、関係者の審査はしないなど公正に採点し、また集計結果についての厳正な審議のうえで、以下の 9 件の発表を優秀賞として選定したのでここに発表致します。

なお、優秀賞は一般の部と学生の部ごとに、総合的に評価の高かった順に理事長賞・学術委員長賞・事務局長賞として選定しました。優秀発表者には賞状と副賞が授与されます。

受賞者の皆様、おめでとうございます！2022 年度も研究発表大会やポスターセッションは実施されるかと思えます。また研究成果を取りまとめていただき、ぜひ今後の大会での研究論文発表などにつなげていただきたいと思います。コロナ禍で大変な状況が続いていますが、次回に向けて益々の研究の推進をよろしく願います。

【一般の部】

理事長賞	「自治体 SDGs 政策へ社会情勢変化が与える影響の分析」 増原直樹 氏：兵庫県立大学環境人間学部
学術委員長賞	「木の駅活動の地域性に応じたステークホルダーの環境・社会価値構造」 山崎慶太 氏：(株)竹中工務店技術研究所
事務局長賞	「みどりのまちづくりにおける「暮らしやすさ (Suitability)」の研究： 地域循環共生圏の実現に向けて」 天野健作 氏：大和大学社会学部

【学生の部】

理事長賞	①「非住宅建物への太陽光発電導入ポテンシャル分析 —経済産業省・環境省との比較—」 廣瀬梨乃 氏：東京工業大学 環境・社会理工学院 融合理工学系 ②「LCC とトータルベネフィットに基づく街路樹の最適更新時期の検討」 清川梢太 氏：大阪府立大学大学院生命環境科学研究科
学術委員長賞	①「リスク共生に向けたベンゼン土壌汚染地の健康リスク比較指標の開発」 丸田有美 氏：横浜国立大学都市科学部環境リスク共生学科 ②「AI 技術を利用した霧画像の視程判定モデルの開発」 西原大貴 氏：岡山理科大学大学院生物地球科学研究科
事務局長賞	①「日英の海洋空間計画における洋上風力発電の位置づけ」 水野羽奏 氏：東邦大学理学部生命圏環境科学科 ②「再エネ海域利用法に基づく協議会の現状と課題」 山本倫輝 氏：東邦大学理学部生命圏環境科学科